

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



せきたてるような蝉の声が、夏の到来を告げています。遅い梅雨明けと同時に、気温が急上昇し、まだ暑さに慣れていない身体には応えますね。

夏には弱いとされていた新型コロナウイルスですが、その勢いは衰えず、感染拡大が収まる気配は全く感じられません。



楽しみにしていた夏休みも予定をキャンセル

せざるを得なくなり、GO TO キャンペーンも、さまざまな規制の中では、むなしく響きます。

先の見えない不安な日々、心身ともに疲れを感じている方もたくさんいらっしゃることでしょうが、大切な生命を守るために、もう少しだけ我慢しましょう。

ストレスを上手に切り替え、この大変な時期を皆で乗り越えましょう。どうぞ、お身体大切にお過ごしください！！

家を建てる段取り (1)

今回から、家を建てる際に大切な段取りについて書かせていただきます。どんな段階を経て家が完成するのかを楽しみながらご理解いただければ幸いです。

【希望入居日から逆算してスケジュールを立てよう】

家を建てる時には、どんな手順が必要でしょうか？ 事前に知っているのと、家づくりに取り掛かってから気が付くのでは大違いです。



家づくりでは、次々に決定していかなければならないことが沢山あります。

後から慌てることのないように、家づくりの流れをきちんと把握してスケジュールを立てておくと安心です。

大まかな流れとしては、資金計画→建たい家をイメージする→依頼先を決める→設計内容の検討・確定→契約→着工などの段階を経て、完成（竣工）→引渡しとなります。

それぞれの段階に掛かる時間は、工法や希望する条件によっても異なりますが、一般的な、木造・2階建ての住宅の場合は、住宅会社と出会ってから新居に住み始めるまで約1年掛かります。

建て替えの際の解体工事、間取りプランをじっくり検討したい場合や、新たに土地探しから始める場合は、更に時間がかかります。

家を建てる時には、先ず、いつから新居で暮らし始めたいのか希望時期を決めて、それから逆算してスケジュールを立てるのが一般的です。



次回に続く

「釣りしのぶ」

釣りしのぶは、竹や針金を芯にして山苔を巻き付け、その上にシノブの根茎を巻き付けて、さまざまな形に仕立てたもの。シノブは、山地の樹木や岩肌に着生して育つシダで、強健で乾燥に強く、水が無くても「耐え忍ぶ」ことからこの名が付き、縁起よく「釣りしのぶ」と書くようになりました。

風鈴を付けたものも多く、その涼やかな音色と共に夏の風物詩になっています。

「釣りしのぶ」は、江戸時代に庭師が作り始め、お得意様へのお中元として用いられていたそうです。

昔ながらの「屋形船」「灯籠」「亀」「いかだ」などの形をしたものは、素朴で何ともいえないレトロな感じが漂いますが、最近はモダンなデザインのものもありプレゼントとしても喜ばれそうです。

エアコンも扇風機もない時代、人々は高温多湿で蒸し暑い夏を乗り切るため、自然の風や水を使って、上手に涼を呼び込んでいました。



大人っていいな

小学1年生の〇〇君は、お母さんに聞きました。
「お母さん、お母さんは小さい頃、何になりたかったの？」



お母さんは答えました。
「お母さんはね、
いろいろなものになりたかったのよ」

「例えば、お使いを頼まれてクリーニング屋さんへ行くでしょ。そうするとクリーニング屋さんになりたいと思ったの。

そして、学校で優しく教えてくれる先生に出会って、勉強が楽しくなると、学校の先生にもなりたかったの。

それからね、遠足で素敵なバスガイドさんを見れば、あんなバスガイドさんになりたいと考えたし、家族皆でレストランに出掛ければ、ウエイトレスさんもいいな・・・なんて思ったよ」

「ふ～ん。じゃあ、お母さんの夢はどれも叶わなかったんだね」

子どもから、そうハッキリ言われてしまうと、普通のお母さんならちょっと腹を立ててしまい、こう言うかもしれません。

「そうよ、お母さんは、あなたたちを育てるために一生懸命で、いろいろなことを我慢して自分の夢を犠牲にしたのよ」って。

もしこう言われたら、子どもたちはどう思うでしょうか？

心から喜べる子どもはまずいないでしょうね。

でも、〇〇君のお母さんは違いました。

「じゃあ、やっぱりお母さんの夢は一つも叶わなかったんだね」

その言葉に、お母さんは首を横に振りました。

「ううん、全部叶ったよ」

「えっ、どうして??」

〇〇君は、びっくりしました。

「だって、お父さんが毎日会社に着ていくYシャツにアイロンを当てる時には、クリーニング屋さんになった気がするし、〇〇君に勉強を教えている時は、すっかり学校の先生になった気分だし、お父さんの車の助手席に座れば、お母さんはバスガイド。それに、食事を作ってテーブルに並べる時は、ウエイトレスさんになった気分よ」

お母さんは、ニコニコしながらこう言いました。

「ふ～ん、そうか」

〇〇君は、そんなお母さんを見て、
何にでもなれる大人っていいなって思うのでした。



コロナ感染が収まらないため在宅時間が長くなり、
親も子もついイライラ・・・。

こんな時この親子のような会話ができると嬉しい
ですね。2人の楽しそうな顔が浮かぶようです

「編集後記」

夏空に入道雲がわき、太陽のまぶしい季節になりました。夏休みも始まり、海山の恋しい時季ですが、今年はコロナウィルスの感染が止まず、諦めなくていけないようです。又、帰省を楽しみにしていた人達も、帰るべきか否か？複雑な思いを抱えていることでしょう。

各地で繰り広げられる花火大会やお祭りまでも中止となり、寂しい夏をどう過ごすか・・・悩みますね。

そんな中でも、昼夜を問わず頑張ってくださいている医療関係者の方々に感謝を忘れず、1日も早く終息宣言が出される日を待ちましょう。

体調管理を怠らず、どうぞお元気で過ごしてください！
今月号もお読みいただき有難うございます。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。
ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子